

この「あいあい通信」は、理事・監事・評議員などのみなさんにお届けします。

# からはし通信

2019. 12. 16

No.2

発行：社会福祉法人 唐橋福祉会

編集：理事長 下村つとむ

## 公立園の民営化 反対署名は 1066 筆に

皆さんにもご協力いただいた「公立保育園の存続を求める署名」（民営化反対署名）は、当園関係だけでも1000名を突破し、本日現在、1066筆になっています。わざわざ園までお届けいただく方が毎日のようにあり、大変感激しています。全市で集まった署名は12月中に現市長に手渡して、新市長にしっかり市民の意思を引き継ぐよう要請します。

15日には、この署名を推進している市民団体の主催で「子育て・保育のつどい」が明日都浜大津で開かれ、署名活動を一層進めることを申し合わせました。

こん「つどい」には、市長選挙に立候補を予定されている3氏に出席を要請しましたが、1人は連絡なく欠席、1人は途中退席、最後まで参加して意見を述べたのは1人だけでした。保育への熱い思いをしっかりと聞いて、子育てや保育についての見解を述べてほしかったのに残念。どの人が市長になっても、子育てを抜きにして市政はないはずです。

## 指導監査 指摘文書がきました

11月15日、大津市の福祉指導監査課から4名の担当者が来園し、過去1年間の保育園運営をつぶさに検証しました。例年、【保育園】とともに【法人】についても監査と指導が行われます。ところが今年度は、認定こども園に移行したため、【法人】については監査が隔年になりました。このため、【保育園】に絞って、「施設の管理」「会計・経理」「子どもの処遇」「給食」の4分野について準備した書類を中心に細かく検討されました。

その結果、12月10日、市長名で指摘文書が届きました。（次ページ）

直ちに改善しなければならないような重大なルール違反を指摘する「文書指摘」は1件もなく、今後の努力や是正を求める「口頭指示」が14件ありました。うち給与規程や就業規則の改正を要する4件については次回理事会に改正を提案いたします。また、子どもたちの処遇を改善し、保育環境を整えていく努力を一層、積み重ねていきます。

## お餅つき 商店街の皆さんの応援で

「あいあい」恒例のおもちつきが12月4日、今年も「石山商店街振興組合」のみなさんのご協力で開催されました。黒崎理事長をはじめ、小島俊明さん、磯田武彦さん、磯田孝紀さんがつき手として参加され、団十郎の寺田正さんが鮮やかな手さばきで餅を丸めていただきました。さすが本職！餅は餅屋です。子どもたちは、「よいしょ、よいしょ」の掛け声で声援を送り、今回が最後となる5歳児・さくら組の子どもたちは全員が杵をもって餅つき体験をしました。ご支援、本当にありがとうございました。